

MIRAI 未来

2021年3月18日(木)
第314号

●発行所 『未来』編集委員会
〒577-0023
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5
(06) 6781-3984
Eメール
mirai_newsroom@yahoo.co.jp
●発行人 山本 康

●第1・3木曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

- 琉球遺骨返還訴訟 百按司墓の見分を要求 2
- 沖縄・奄美 島唄の向こうに(上) 軍事クーデターに抗する民衆 3
- 「GIGAスクール構想」前倒し 4
- 私のジェンダー考(1) 関電原発マネーの間 5
- トガシさん 「沖縄便り」⑥ 6

広域一元化に抗議

「人間の鎖」で市役所包囲

2月25日
大阪市

2月25日、大阪カシノ ナ対策優先」などを訴へ、約400人が参加し、日。また大阪府議会では、吉村洋文知事が「一元化」を提案しました。この「条例案」を提案しました。この「条例案」を提案しました。



大阪市議会の開会日に400人が包囲(2月25日)

平日の昼とあって、が一時間近くおこなわれ、正午からヒューマンチェーンに取り組みましたが、杞憂に終わりました。12時過ぎに市役所包囲が完成しました。コロナ禍とあって直接手は繋がらず、幟やバナーなどの端を持って間隔を空けて取り囲み、ウェーブも。その後、呼びかけ8団体による抗議集会が持たれました。

民主主義が危ない

大阪カシノに反対する団体懇談会代表の桜田照雄、大阪南大教授は、「広域一元化条例第2条の基本理念には、ありもしない『二重行政を失くす』や法律に定めのない『副

長年にわたって勝ちとってきた戦後地方自治における民主主義を根底から覆されようとしています。それが広域一元化条例の最大の問題点です」と警鐘を鳴らしました。

新しい紙名を募集します

今春から『未来』の紙名を変更して新しい紙名を募集します。応募は本紙編集委員会にて受け付けます。

新しい紙名を募集します

みなさんから、新しい紙名を募集します。応募は本紙編集委員会にて受け付けます。

首都を目指す」の2つが書かれています。二重行政の解消と副首都で大阪の成長を成し遂げるといいます。大阪の成長は経済成長だけではありません。またたく内容のない、議会の中で持ち込んでい

その予算が膨大に膨れ上がって、破綻しています」とアピールしました。市議会では3月に提案される予定。維新の大阪市の自治破壊を許さない。たたかいは強めましょう。会。維新と公明党によって広域行政一元化案が可決されようとしている。提出された条例案では「その他重要な施策につ

福島地裁 「子ども脱ひばく裁判で不当判決」と強弁



「子どもをすべて棄却。守らないで。この裁判は、原発事故未来なんてな。後、子どもたちを被ばくい」。3月1日の危険にさらした国と日、子ども脱被ばく裁判原告相手に、6年前、福島県団長・今野寿美の親子200人が提訴した。福島地裁前に「安全な環境での教育」響きました(写)。裁判所は「子どもたちに無用な被害をばくをさせ精神的苦痛にすべて「合理性」があ

を与えたことへの損害賠償」を求めました。事故の責任追求の裁判は各地で起こされていますが、事故後の行政の対応を問うのは初めて。ある原告は「提訴してから6年半、こんな結果に言葉もない。でも私たちは子どもを守り抜く。自分の行動に自信と誇りを持っている」と悔しさを込めつつ、揺るがない思いを語りました。原告、弁護士は控訴し、たかいは続きます。詳細はフェイスブック「子ども脱ひばく裁判」で。

琉球遺骨返還訴訟

百按司墓の見分を要求 京大のずさんな遺骨管理



京都御苑で報告集会 (2月26日)

明らかにしていない。原告側は「裁判官と一緒に京大に行き、保管状況を見てほしい」という申し立てをおこなった。

また京都帝国大学助教授・金関丈夫らが遺骨を盗掘した沖縄県今帰仁村にある百按司墓が、どう

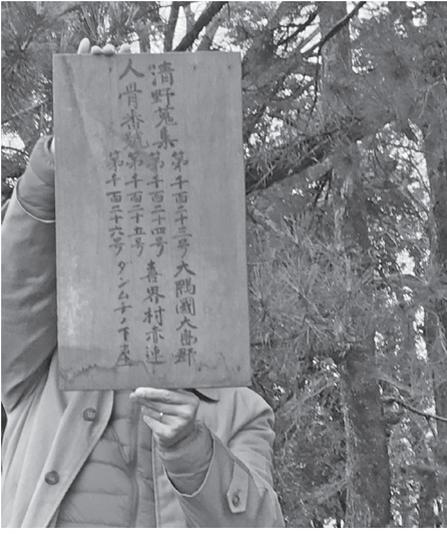
人種主義による盗掘

琉球遺骨返還訴訟の第8回弁論があり、その後、報告集会があった(2月26日、京都地裁)。

報告集会では、弁護団から琉球遺骨返還請求訴訟の支援全国連絡会から、この日の訴訟目的について提起があった。

裁判所に見分を要求

京都大学は博物館、資料館に保管されている遺骨の保存状況、名簿等を



京大のゴミ集積所から見つかった人骨を納めた木箱 (2月26日の報告集会にて)

京大のゴミ集積所から見つかった人骨を納めた木箱 (2月26日の報告集会にて)

から返還された63体の遺骨をめぐり、墓に返すために取組みをおこなっている。3月21日、沖縄県立博物館で、1903年の学術人類館事件(注)を問い直すシンポジウムをおこなう。この問題は終わっていない。日本人類学会は、京都大学に『遺

琉球民族は先住民 京都で支援集会

2月25日、京都市内で

琉球遺骨返還請求訴訟と琉球人遺骨保管住民監査請求を支援する集会が開かれた。住民監査請求は、沖縄県教育委員会が、イヌ民族の遺骨を盗掘した。帝国主義の時代、自分たちからみて下にみた人の人骨を調べることが通して、いかに自分たちが優秀であるかを研究してきた長い歴史がある。それが歴史だけならいいが、まだ続いている。こういう裁判をしなければならぬという問題に直面している。近代を問うかけるきかけになる。裁判は大変なエネルギーを必要とする。支援が大事だ」と話した。

本連載の(上)では、米国内の「分断」は1970年代末から始まった米国内の新自由主義的な構造改革とグローバリゼーションによって生みだされてきたものであり、トランプ前大統領はその分断を煽り立て、顕在化させたに過ぎないことを指摘した。(中)

遺骨が眠る土基地に使うな ハンストで抗議1週間

2月26日の県議会で玉城デニー知事は「当該地域の土砂が辺野古埋め立てに使われることは、悲惨な戦争を体験し多くの犠牲者を出した県民の心を深く傷つけるもの。到底認められない」と批判。国には16年に成立した「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」にもとづいて、本島南部の遺骨収集を進める責任がある。遺骨が眠る土砂を米軍基地の埋め立てに使用するなど言語道断だ。どこまで沖縄の人びとの思いを踏みにじれば気が済むのか。辺野古の埋め立ては直ちに中止を。(坂口竜一)

沖縄県名護市辺野古で米軍基地の埋立てに使うことが人間として許されるのか」と話す。昨年4月、防衛省の提出した設計変更申請書で、県内で調達できる土砂のうち7割にあたる約3160万立米を沖縄本島南部から調達できるとしている。

大浦湾側の軟弱地盤によって新基地建設が不可能になった。政府は「設計変更」ではなく、「工事を中止を決定すべきだ。遺骨が眠る土砂を使って埋立を続行する」というのだ。

戦火の絶えない世界だったのである。いま米国内でブラック・ライフズ・マター(BLM)などの新しい民衆運動の主力となっているのは10代から20代前半の若者たちである。Z世代(96年〜12年生まれ)と呼ばれる彼らは、新自由主義グローバリゼーションの世界のなかで育って

焦点

米バイデン新政権と世界(下) Z世代が生み出す可能性

西田太一

の後のグローバリゼーションの急進展は、資本主義を擁護する人びとにとってはまさに福音であった。米国の国際政治を深めていた。それでは、大統領選挙の結果から見てきた、トランプ支持者たちの意識に注目した。彼らは世界の動きから目を閉ざし、内向化を深めていた。それでは、

沖縄・奄美 島唄の向こうに (上) 牧志徳さん

教室に轟音 浜に流れ弾



組合員 春闘 討論会

牧志徳さん(写真)は「うがみそーら、ちゅーださい。元気よく、うがみそーら」。琉球語がみそーら。那覇の国

戦後奄美・加計呂麻島で生まれ、2歳のころ沖縄で

諸島の基地の町「嘉手納村」へ移住。「復帰」前パスポートで、16歳のとき

院勤務のかたわら島唄に取り組んできた。関西合同労働・春闘討論集会(1月)で、自身の経験

にそった沖縄・奄美についての話があった。「島唄の向こうに見えてくるもの」の題で唄と話が

まり、参加者は引き込まれた。以下紹介する。(聞きとり、まとめ・見出し／高崎庄二)

2月1日早朝、ミャンマー国軍は議会招集の数時間前に、与党・国民民主連盟(NLD)を率いる

アウンサンスーチー国家顧問(75)や複数の政治家を拘束し、国家権力を掌握したと宣言した。

翌2日には、SNSを通じて抗議行動が開始され、その規模は拡大していった。2月28日、国軍

はデモ隊にたいし、実弾の発砲を含む武力行使に

しよに歌ってください。

故郷の嘉手納

アジアの人たちは、私たちの故郷沖縄を「悪魔の島(注)」と呼んでいるらしく、ちょっと悲しい思いをしています。私は、奄美大島の加計呂麻島で生まれ、2歳くらい

のとき沖縄の嘉手納に移りました。親父がアメリカ軍の基地で働き稼いで家族を呼んだ。嘉手納村はさびしい村でした。

大阪に来てから高校に行ったら、担任が反戦教師だった。担任が反戦教師の急降下、すごい金属音を村の人が見落とした。

村では、2階建て校舎の上を通るときのような窓のすぐ上をファントムの戦闘機が飛び、パイロットのサングラスをか

けた顔、赤とか黄色のツナギの服が見える。それから機編隊、ひし形になっていった。授業は5分

おきに中断される。すぐに嘉手納飛行場があり、地平線の見える飛行場でした。伊丹空港の3

倍の広さ、4千メートル滑走路が2本ある。いつも100機以上の戦闘機、軍用機がスクランブル、戦闘態勢にはいつ

も100機以上の戦闘機、軍用機がスクランブル、戦闘態勢にはいつかまた、うるさい。これがまた、うるさい。くを引張って走って逃げた。足元に流れ弾が

ピピピピと撃ち込まれた。近くに実弾演習場があり、演習があるときは赤い旗を出す、それを村の人が見落とした。

浜辺には3メートルぐら

な、95ホンという凄まじい轟音で急降下し、また上がる。それを繰り返すから、先生の声が聞こえない。学校の教室は3枚ぐら窓ガラスを張って

貝拾いの浜辺に流れ弾

砂辺という村の近くの海で貝拾い、魚取りをしていたとき、母が妹とほくを引張って走って逃げた。足元に流れ弾が

ピピピピと撃ち込まれた。近くに実弾演習場があり、演習があるときは赤い旗を出す、それを村の人が見落とした。

浜辺には3メートルぐら

な、95ホンという凄まじい轟音で急降下し、また上がる。それを繰り返すから、先生の声が聞こえない。学校の教室は3枚ぐら窓ガラスを張って

おきに中断される。すぐに嘉手納飛行場があり、地平線の見える飛行場でした。伊丹空港の3倍の広さ、4千メートル滑走路が2本ある。いつも100機以上の戦闘機、軍用機がスクランブル、戦闘態勢にはいつ

も100機以上の戦闘機、軍用機がスクランブル、戦闘態勢にはいつかまた、うるさい。これがまた、うるさい。くを引張って走って逃げた。足元に流れ弾が

ピピピピと撃ち込まれた。近くに実弾演習場があり、演習があるときは赤い旗を出す、それを村の人が見落とした。

浜辺には3メートルぐら

な、95ホンという凄まじい轟音で急降下し、また上がる。それを繰り返すから、先生の声が聞こえない。学校の教室は3枚ぐら窓ガラスを張って

おきに中断される。すぐに嘉手納飛行場があり、地平線の見える飛行場でした。伊丹空港の3倍の広さ、4千メートル滑走路が2本ある。いつも100機以上の戦闘機、軍用機がスクランブル、戦闘態勢にはいつ

も100機以上の戦闘機、軍用機がスクランブル、戦闘態勢にはいつかまた、うるさい。これがまた、うるさい。くを引張って走って逃げた。足元に流れ弾が

韓国サンケン・キム副支会長 民主労総女性副委員長に

2月5日に開催された韓国民主労総の2021年第72回定期代議員大会で、韓国サンケン労働組合副支会長のキム・ウニョンさんが副委員長に

当選した。「グローバル企業へのたたかいは、決意の立候補だった。そして勝利した。当選後の6日の

フェイスブックでキムさんは「韓国サンケンの不法・偽装廃業にたいし、韓国と日本

の同志たちと交わした約束を守ってたたかいた。必ず勝利します。1700人の投票によっておこなわれた。

【解説】韓国民主労総は文在寅政権発足後、組合員が25万人以上急増。18年には組合員数で初めて韓国労総を超えて労働界の代表性が与えられる

「第一労総」となった。今回の民主労総の副委員長選挙(定員は女性3人、一般5人)では、女性性に4人が立候補。選挙は2月5日、オンラインの代議員大会で代議員

1700人の投票によっておこなわれた。

軍事クーデターに抗する民衆 国軍を支えた日本企業

ミャンマーの市民らは再び街頭にあらわれ、抗議の意

志を示した。国連特別報告者によれば、犠牲者はこれまでになくとも70

が流れたためだとも言われている。実際に、国軍

は昨年11月、NLDが大勝した総選挙で市民の抗議活動に合流す

る事態が生まれている。(椎名恵)



キム・ウニョンさん(韓国サンケン労働組合を支援するフェイスブックより)

森喜朗発言につづき、山田真貴子前内閣広報官問題は、ジェンダー・ギャップ指数が世界153カ国中121位という日本の現実を衝撃的に突きだした。「わきまえない女」の怒りの声が澎湃とおこり、「飲み会を絶対に断わらない女」が高官の座から転げ落ちた。女性解放を求めてきた者として、忸怩たる思いで半世紀をふり返った。

75年に国連による国際婦人年がひらかれた。平等の声を高まりに、「保護の平等」要求へと軸足を移していく。85年、日本政府は女性差別撤廃条約を批准(72カ国目)するが、平等政策は採らず、保護剥奪と差別的搾取を強化するために、労基法改悪―雇用機会均等法制定、労働者派遣法をセッ

トで持ち出し、86年施行。国鉄の分割民営化―総評労働運動つぶしと軌を一にするもので、戦後労働法の根本を崩し、今日の非正規・貧困問題の起点となる攻撃だった。

00年代以降、新自由主義の急激な進展の中、「女性の差別と貧困」問題は若い男性にも及び、ついには大半の働く人を呑みこむ。コロナ禍はその脆弱な社会構造を浮き彫りにした。女性差別を容認・加担してきた男性中心の労働運動、男社会も、「女

女性保護規定をなく奪

1970年前後から、政府・財界は生理休暇などの女性保護規定をなく奪する労働基準法改悪を繰り返した。女性保護と女性への身心を劣悪な労働条件から守る《権利》だが、女性の中でも電電公社(現NTT)の管理職になった影山裕子氏が旗振り役になり、「保護は平等の足かせ」という論を振りかざし、改悪を推進した。生理休暇取得を闘い続けてきた総評婦人部は「保護も平等も」と、強く反対。多くの女性グループ・団体が共に立ちあがった。

リブ運動のうねり

60年代からのリブ運動の国際的うねりを受け、

私のジェンダー考(1) 立川てるみ

山田流ジェンダーギャップは埋められぬ 非正規雇用無くしてこそ

1978年制定の男女平等法で、公的機関における男女割合を一定比率で割り当てるクォータ制を明記。世界へと拡大していく。

日本での保護剥奪をめぐる攻防は続くが、フェミニズムと労働運動の後退の過程で、「保護」権

利を守る」主張は、政府・財界の思惑にのせられた「平等」要求へと軸足を移していく。85年、日本政府は女性差別撤廃条約を批准(72カ国目)するが、平等政策は採らず、保護剥奪と差別的搾取を強化するために、労基法改悪―雇用機会均等法制定、労働者派遣法をセッ

「指導的地位」につく女性はずばずばかり増えたりと多くの犠牲の代償であり、女性間の格差・分断を拡大する要素でもあった。ちなみに先の山田真貴子氏の入省は84

原発は人災、政策転換を

3月6日 大津市で、びわこ集会



3月6日、「原発のない社会へ2021びわこ集会」が滋賀県大津市内で開かれ、500人が参加した(写真右)。

集会では沖繩から「せやろがいおじさん」がトーク。菅政権をユーモアたっぷりに手厳しく批判

さいなら原発・びわこネットワークの総会が2月23日、自治労滋賀会館(滋賀県大津市)で開かれ、30人が参加した(写真左)。

総会では、「若狭の原発を考える会」の木原壮林さんが、「老朽原発う



さん。平尾市長は、「人防を説明。昨年12月の大類と核は相いれない。大阪地裁行政部が大飯3、4号機を設置変更許可を取り消した判決について、「エリート裁判官が琵琶湖を囲む湖岸道路を

「危険だから止めた」元裁判官・樋口さん

3月7日、大阪市内で、一年ぶりに「さよなら原発・関西アクション」が開催され、コロナ禍にもめげず、たくさんの人が集まりました。今年は大日本震災から10年目。それにふさわしい節目の集会となりました。

今回の講演は、14年5月、福井地裁で大飯原発差し止め判決を出した元裁判官の樋口英明さん。福島の実状や核燃料施設

「危険だから止めた」元裁判官・樋口さん

3月7日、大阪市内で、一年ぶりに「さよなら原発・関西アクション」が開催され、コロナ禍にもめげず、たくさんの人が集まりました。今年は大日本震災から10年目。それにふさわしい節目の集会となりました。

関電原発マネーの闇

福井県民会議 宮下正一さんが語る

関電は役員ら20人が高浜町の元助役・森山栄治から「3億2千万円に相当する金品を受領していた」と公表し、謝罪した。関電は内部調査によって、金品受領の事実を前年の9月にはつかない内部をかかわらず、1年間、隠し通していた。内

(多賀信介)

まい・しよっと (2)



ひとを待つベンチ 撮影：阿手類

※このコーナーではみなさんの写真を募集しています。応募は本誌編集委員まで。

長崎県内の話題に入る前に、やはりこれだけは今、ふれざるをえない。ヤンゴンでは40人近い死者が出ているという(3月3日)。ミャンマーの国内事情や政治的・経済的背景は詳しくないが、はっきり言って、国軍は自ら墓穴を掘っていると思う。人民を敵に回して延々と独裁を続けられた例を知らない。

高額「接待」問題 これも、長崎から言わずにはおけない。一人7万4千円の会食の山田内閣府広報官。買収ではないか。彼女の広報官としての報酬は月額117万5千円。私たちが

安民法制違憲訴訟 県内の被爆者や元自衛官ら約200人が原告となり、長崎地裁へ2016年6月に提訴。判決は7月5日。被爆者の築城昭平さん(93)は意見陳述で「戦争がほとんど近づいていない。悲惨な目に遭うのは、悲愴な目に遭うのは一般国民だ」と訴えた。原告団長の川野浩一さん(81)は「二度と戦争

県内の2つの訴訟

脇田和也(非正規雇用労働者)

労働者感覚からすると法外である。ちなみに、生活保護の生活費は月額平均7万5千円前後だ。菅ら政府官僚や政治家(国會議員)の金銭感覚はかたい離れている。コロナ対応においてピント外れなものもそうだ。こんな人たちに舵取りをまかせてはいけない。とんでもないことになる。



年金減額訴訟 12年の国民年金法改正(改悪)に基づき年金減額を憲法で保障する生存権を侵害するものとして訴えた。3月1日、長崎地裁は請求棄却。原告側は控訴の意向。宮地昭原告団長(93)は報告集会で「年金を減額されると受給者は生活できない。人間らしく豊かに生きられる国づくりを目指し、勝つまで闘う」と話した。

短歌 労働者放り出されて個人事業世の中変えるプレカリアートの人の性は寄り添いなれど

川柳 要りませんワクチン接種医師いない 無医村や、24時間365日ひとり医師が地域医療を支える地域は少なくない。そこへ「市町村はワクチン接種計画を立てよ」の国の指示。ワクチンは恩恵どころか重荷に。(ひらな)

トガシさんの「沖縄便り」

住民、兵士の遺骨が残る地

辺野古埋め立て土砂の南浦激戦地の、まだ遺骨が収集されていない場所から採掘する計画に、県が不許可を出すようにと要請するハリストがおこなわれました。

魂魄の塔の近くから

地域は、糸満の「魂魄の塔」近く。「東京の碑」有川中将以下将兵自決の壕」もあります。有川中将は石部隊所属、調べる隊碑文の最後には、「精鋭を誇った第62師団将兵も遂に摩文仁：北方山野の戦場に、寡兵よく最後の勇を鼓し阿修羅の如く玉砕せり」とあります。

土砂に混じる遺骨

辺野古へ埋める土砂採取は、有川隊将兵自決の壕の近くから62師団が後退しつつ戦った八重洲、与座岳から喜屋武岬にかけた一帯がかなりを占めます。住民の遺骨ばかりではなく、日米将兵の遺骨がまだ散乱している所です。風化した



糸満市の土砂採取予定地(ブログ「チョイさんの沖縄日誌」より)

遺骨は、一見しても土砂と見分けが付きません。樫とのたたかいであり、「表土からは採取しない」と言っても難しいので、それなのに、政府は業者の言のまま「注意を払ってやるぞうだ」と言っている。「熊野鉾山」社長は和歌山県出身、自民党・二階幹事長と同郷で懇意とか。その二階幹事長が、菅総理を支えています。

人としての問題

「採掘届の書類が十分なら、受理しないわけにいかない」というのが、県庁担当部局の見解で

イベント紹介

- 3月20日(土・休) 関電よ 老朽原発つごかすな! 高浜全国集会
3月28日(日) 五輪反対集会 五輪より命 コロナ感染危機を共に生き抜こう!
4月4日(日) 民衆の国際連帯で東アジアの平和をめざす 4・4円山集会